



明日の青梅のために!!

島崎 実 後援会報 No.4

平成28年4月20日発行
 島崎 実後援会事務所
 〒198-0063
 青梅市梅郷6-1511
 TEL 0428-76-0358
 E-Mail info@minoru-kai.com

越生町で開催された全国ウメ生産者女性サミットに梅郷地区の女性生産者とともに参加しました。(3/5)



梅の里再生を願い梅の公園に作られた巨大モザイクアートと企画した青梅市立西中OBの青年たち。(3/6)



梅の里再生市民まつりの一コマです。
 梅郷5丁目自治会館での集合写真です。(3/13)



吉野梅郷手作り甲冑隊行列の様子です。



ポツパルト市青少年友好使節団交流会にて(3/25)

高円寺の阿波踊りの皆さんと一緒に踊りました。



シュナイダー団長とご主人

16歳~18歳の青年たちと



「議会報告」No.4

◎2月15日の臨時議会・全員協議会の場で、「新生涯学習施設」(仮称)建設計画が示されました。「新生涯学習施設」は老朽化した青梅市民会館を解体し、閉鎖する釜ヶ淵市民会館・永山ふれあいセンター、青梅市民センターの閉鎖書庫の機能を集約した施設となり、建物規模は3,000㎡を予定します。

- ・市民会館の大ホールはケミコン跡地の利活用の中で、検討することとし、「新生涯学習施設」では200席の小ホールを設置します。
- ・市民会館の貸し出しは平成29年3月末迄とし、平成30年から工事を開始し、平成31年4月のオープンを目指します。

◎平成28年2月定例議会が、2月23日から3月23日間の日程で開催されました。2月23日の市長施政方針演説に始まり、各常任委員会審査、一般質問を経て、3月14日から4日間「平成28年度青梅市一般会計予算」の審査を行い、一部会派の反対はありましたが、総額494億円の当初予算が成立しました。当初予算規模としては前年度比3億円、0.6%の増加です。

(予算の概要)

- 1 歳入においては、繰入金・市債等が減額、一方市税、地方交付税、国・都支出金等が増額となった。
- 2 歳出においては、新生涯学習施設建設に向けた経費、梅樹の再植栽、民間保育所や学童保育所の新増改築事業、図書館等の指定管理者制度の導入等長期計画事業の施策が予算化された。

(梅の里再生のための予算について)

梅の里再生の予算については、平成28年度中の再植栽に向け1億2,600万円余の予算が成立しました。内容は下記の通りです。

- 1、総額 1億2,673万円余 前年度比+5,847万円
 - (1) 内、国・都から (7,334万円余) (梅樹、調査・消毒・伐採等で5,386万円余)
(梅の公園等・測量・整備等で1,948万円余)
 - (2) 内、基金取り崩し (2,422万円余) (取り崩し後の基金残高見込み4,800万円余)
 - (3) 内、市一般財源 (2,916万円余) (梅の里再生祭り経費、梅苗木確保、広報活動費用他)

◎3月4日の全員協議会の場で、市長よりの提出事項として下記12項目が示されました。

- 1 姉妹都市ポツバルト市との青少年友好親善使節団の受け入れ及び派遣について
- 2 第6次青梅市総合長期計画の改訂について…改定の主な内容は (1)将来人口 (2)財政見通し (3)基本計画の各施策分野における「現状と課題」「基本施策」等となります。
- 3 事務機構の見直しについて
- 4 平成28年度税制改正の主な内容について
- 5 避難行動要支援者の取り組みについて…現在市内には、要支援者名簿対象者8,873名及び要援護名簿登録者 1,602名の方がおられ、対象者に対し(名簿に関する)同意確認を行っています。
- 6 平成28年度国民健康保険税の改定について…厳しい財政状況の中、平均改定率3%の引き上げになります。
- 7 後期高齢者医療保険料の改定について…基金の取り崩し等により平均保険料は前年度比-1.4%
- 8 昭島市からの西多摩衛生組合への加入申し入れの対応について
- 9 年金生活者等支援臨時福祉給付金等の支給について
- 10 青梅市保育所バスステーション事業検討会議の中間報告について…今回の一般質問で取り上げました。
- 11 中心市街地活性化基本計画(案)について…3月に内閣府宛に申請し、6月の認定を目指しています。
- 12 東京都の特別支援教室構想について…発達障害の児童が在籍校で指導が受けられるように、各小学校に特別支援教室を設置します。28年度は第一小・第二小他計4校で特別支援教室改修工事を行います。

◎3月7日の一般質問では、青梅からの人口流失の阻止と子育て支援の観点から、①市内幼稚園・保育園の課題について、②英語教育の早期化への対応について質問しました。下記はその質問の一部です。

私の質問	市長答弁
<p>1 幼稚園について、市内には6つ私立幼稚園があるが、全て定員割れ、一方近隣自治体の幼稚園に40%を超える園児が通園している状況がある。</p> <p>(1) 市長はこの現実をどう受け止め、そしてこの要因はどこにあると考えますか？</p> <p>(2) 幼稚園への補助は26市でも上位にある。各園の自助努力に期待し、更なる努力を促がす必要は？</p> <p>(3) 市内各園の特色のPR不足は否めない。園児募集の「広報おうめ」への掲載を拡充すべきではないか？</p> <p>(4) 市外へ通園する園児の保護者に実態把握のため行うアンケート調査の内容と、その生かし方に付き伺う？</p> <p>(5) 少子化・人口減少の中、市と幼稚園の意思疎通が更に重要となる。今後どう連携を図るのか伺う？</p>	<p>1 市内各幼稚園はそれぞれ特色ある教育を行っている認識しているが、定員割れについては各園が非常に憂慮していると聞き及んでいる。その要因については</p> <p>(1) 保育時間や教育内容、また保護者の考え方とのギャップ等、様々考えられるが、明確には分析できていない。</p> <p>(2) 園児確保は各園の自助努力が肝要、市は側面支援の立場から、パンフレットを関係部署に配置する等の支援実施。</p> <p>(3) 「広報おうめ」へは、現在、募集期間と幼稚園への連絡先等のみの掲載。今後は可能な限り掲載内容を工夫する。</p> <p>(4) 28年度中に実施したいが、実施方法・時期等は未定。結果については、各園で十分分析し、有効活用願いたい。</p> <p>(5) 園長会や青梅私立幼稚園父母会連合会との情報交換を継続し、魅力ある幼稚園づくりに協力していく。</p>
<p>2 保育園の課題は、地域間格差にあると考えます。今後最大課題になる人口減少に伴う、地域間格差。東部の保育園では定員オーバーによる待機児童が発生するのと逆に、西部・北部では定員割れの現実。</p> <p>(1) 暮らし続けたい青梅の実現のためには、保育園の充実が欠かせないと思うが、東部に待機児童西部・北部に定員割れ、この状況をどう捉えますか？</p> <p>(2) 窓口での保育園紹介をより懇切に行い、空いている園を選んで頂く最大限の努力をすべきと思うが？</p> <p>(3) 東から西への人の流れを作り、青梅市全体で新たな園児を外から呼び込む体制作りが必要と思うが？</p> <p>(4) バスステーション事業は西部地区の定員割れ対策にも有力な案と考える。計画実現に意欲的な園長もいる。現場の声を聞き実現に努力されたい？</p>	<p>2 人口の多い東部地域では、待機児童が発生し、人口の少ない西部北部地域では定員割れの保育園がある事は認識している。暮らし続けたい青梅を実現させるためには子育て環境の整備が不可欠と考えている。このため、</p> <p>(1) 保育所の待機児童解消に向け、計画的に増改築工事を実施し、定員の増加を図っているが、西部北部の定員割れ解消も喫緊の課題と捉えている。</p> <p>(2) 入所相談に際し居住地の保育園だけでなく、他地域への通園も含め、多くの選択肢を提供できる対応をしていく。</p> <p>(3) 東部地区の待機児童を西部地域の園に登園させる、バスステーション事業を検討したが、28年度当初実施は見送った。</p> <p>(4) 同事業については、今後の東部地区の待機児童減少予想等の行政効果を見定める必要から28年当初実施を見送ったが、青梅市全体で受け入れるとの考えから更に検討する。</p>
<p>3 小学校の英語教育は、現在5・6年生で週1回程度。これが平成30年から内容が高度になり、平成32年からは3年生から必修。5・6年生では成績の付く教科となる。一方市内中学生の英語の成績は厳しい状況にあり、英語教育早期化への対応が重要となるが、</p> <p>(1) 現状、小学校で教えるのは担任だけなのか？そして、そのレベルはどの程度のものか？</p> <p>(2) 中学生の成績が厳しい状況にあることと、現状の英語活動との関連性をどのように捉えているか？</p> <p>(3) 英語教育の変化に付いて、保護者の理解を求める事が重要。保護者に協力を求める施策について？</p>	<p>3 現在、小学校での英語教育は教科としてでなく、外国語活動として、5・6年生で年間35時間の授業を行っている。</p> <p>(1) 専任教員の配置はなく、担任が授業を実施している。小学校教員の英語のレベルは、教員免許取得時に英語力の有無を条件にしていなかったため、個人差があるのが現状。教育委員会では、外国語活動担当教員を対象に指導方法をテーマに年2回の研修会を実施している。</p> <p>(2) 知識・技能面での関連はないが、早期に英語に親しむことから、英語の学力向上に繋がっていくと捉えている。</p> <p>(3) 家庭学習の習慣化、今後、小学校で行われる英語授業について、保護者会を通じて丁寧に説明していく。</p>

*一般質問の質問原稿の全文をホームページに掲載してありますので、ご覧いただけると幸いです。

- ◎3月4日の全員協議会の場で、市長よりの提出事項として下
- 1、姉妹都市ポツパルト市との青少年友好親善使節団の受け入れ
 - 2、第6次青梅市総合長期計画の改訂について…改定の主な内容
(3)基本計画の各施策分野における「現状と課題」「基本計画」
 - 3、事務機構の見直しについて
 - 4、平成28年度税制改正の主な内容について
 - 5、避難行動要支援者の取り組みについて…現在市内には、要支援者名簿登録者 1、602名の方がおられ、対象者に
 - 6、平成28年度国民健康保険税の改定について…厳しい財政状況
 - 7、後期高齢者医療保険料の改定について…基金の取り崩し等
 - 8、昭島市からの西多摩衛生組合への加入申し入れの対応
 - 9、年金生活者等支援臨時福祉給付金等の支給について
 - 10、青梅市保育所バスステーション事業検討会議の中間報告
 - 11、中心市街地活性化基本計画(案)について…3月に内閣府宛に
 - 12、東京都の特別支援教室構想について…発達障害の児童が在
特別支援教室を設置します。28年度は第一小・第二小に

姉妹都市ポツパルト市との青少年友好親善使節団の受け入れ
第6次青梅市総合長期計画の改訂について…改定の主な内容
事務機構の見直しについて
平成28年度税制改正の主な内容について
避難行動要支援者の取り組みについて…現在市内には、要支援者
平成28年度国民健康保険税の改定について…厳しい財政状況
後期高齢者医療保険料の改定について…基金の取り崩し等
昭島市からの西多摩衛生組合への加入申し入れの対応について
年金生活者等支援臨時福祉給付金等の支給について
中心市街地活性化基本計画(案)について…3月に内閣府宛に
東京都の特別支援教室構想について…発達障害の児童が在

記12項目が示されました。
け入れ及び派遣について
主な内容は (1)将来人口 (2)財政見通し
「施策」等となります。

よ、要支援者名簿対象者 8,873名及び
対し(名簿に関する)同意確認を行っています。
財政状況の中、平均改定率3%の引き上げになります。
崩し等により平均保険料は前年度比-1,4%
について

告について…今回の一般質問で取り上げました。
府宛に申請し、6月の認定を目指しています。
童が在籍校で指導が受けられるように、各小学校に
計4校で特別支援教室改修工事を行います。

及び派遣について
容は、(1)将来人口 (2)財政見通し(3)基本計画の各施策分野における「現状と課題」「基本施

支援者名簿対象者8,873名及び要援護名簿登録者1,602名の方がおられ、対象者に対し(名簿に
況の中、平均改定率3%の引き上げになります。
により平均保険料は前年度比-1.4%
いて

こ申請し、6月の認定を目指しています。
籍校で指導が受けられるように、各小学校に特別支援教室を設置します。28年度は第1小・第2

策」等となります。

関する)同意確認を行っています。

小他計4校で特別支援教室改修工事を行います。